

# 旧新渡戸記念館 無償譲渡する考えは

## 現時点では考えていない



畑山 親弘  
(市民連合クラブ)

が、弁護士と協議しながら対応していきたいと考えています。

**議員** 旧記念館を新渡戸氏に無償で払い下げてはどうかという市民の声があるが無償譲渡の考えは。

**副市長** 昭和三十九年八月八日に交わした土地を無償で貸借する契約において、旧記念館の敷地に利用される土地部分の契約期間を同日から昭和百年(二〇二五年)三月三十一日までとしています。この契約では契約期間満了前でも同館を廃止した場合

は契約解除することとし、市は直ちに貸借土地上の建物及び工作物を撤去、整地して返還するとしています。このことから現時点で市側から積極的に無償譲渡する考えはありませんが、例えば新渡戸氏側から希望する意向がある場合は、人の立ち入りをさせないことや維持改修費を求めないことなど、条件を整理しながら検討したいと考えています。

**議員** 旧新渡戸記念館の廃館をめぐる係争事件に発展したことは大変残念だ。新渡戸氏側が青森地方裁判所の判決を不服とし仙台高等裁判所に控訴したが当面は推移を見守るといふことか。

**市長** 引き続き法廷の場で争わなければならないことはとても残念です。

**議員** 奥入瀬ろまんパーク活性化のため、国際的な審査会で入賞した地ビールを中心に六次化産品(山の芋焼酎、飲むヨーグルト、アイスクリュー、十和田湖和牛等を活用したパーティーを夏場定期的に開催できないか。

**観光商工部長** これまでも手ごろな価格で地ビールを楽しめる企画を定期的に開催しており、まずはこの企画の周知に努めます。また、ことしは地ビール誕生二十周年を迎えることから、ご提案のパーティーも含め、新たな企画を提案していきたいと考えています。



おいしい地ビールを味わおう



戸来 伝  
(市民連合クラブ)

**議員** 子供を産み育てやすい環境をつくるためには住みよい環境づくりが欠かせない。市の住宅取得支援策は。

**企画財政部長** 市では総合戦略に基づき、地域への新しいひとの流れをつくることを目指し、地域が一体となり移住者を呼び込む仕組みづくりとして移住者に対する住宅取得支援をしています。定住自立圏域外からの転入者を対象に住宅の取得・改修費用を補助しており、特に子育て、三世帯同居、若年夫婦の世帯には補助金額を上乗せしています。引き続き広域連携の強化を念頭に首都圏在住の移住希望者に対する支援策を充実させたいと考えています。

**議員** 定住自立圏域内からの転入者に対して住宅取得支援策を充実させたいと考えています。

子育てしやすいまちづくりで  
移住者増へ

広域連携を強化し

支援制度を充実させる

住宅支援する考えは。

**市長** 定住自立圏は相互に発展するために連携し取り組んでいるため、圏域内からの転入者に対しての住宅支援は考えていません。

**議員** 保護者の負担軽減のため給食費を無料にする考えは。

**教育部長** 給食費を無料にした場合、保護者からの負担約二億六千万円が市の負担となるほか、給食に係る施設や設備に要する経費、人件費などの負担もあるため財政的に大変厳しいと考えています。

目指す考えは。

**観光商工部長** 現在、猿倉温泉から毎分千リットル供給していますが、その間で源泉温度は約七十度から約五十四度まで低下します。ご提案のような温泉街の実現には温度が高く豊富な湯量を確保する必要があります。実現に向けて課題と解決方策の調査研究を進めていきたいと考えています。

**議員** 焼山地区は十和田湖・奥入瀬溪流・八甲田山の分岐点として重要な地域だ。猿倉温泉からの配管設備を整備し温泉情緒あふれる焼山地区を



活性化が求められる焼山地区